

令和3年度 第1回 三重県議会「議員勉強会」

■目的

コロナ禍を契機として、人と人との接触を避けることができるリモートワークや、オンラインでの打ち合わせや会議の開催が推奨されるようになりました。

三重県議会においても、議会改革の一環として、議員へのタブレット端末機の貸与、利用などが進められているところです。

こうした、インターネットやスマートフォンの普及によって、私たちの生活が便利になる一方で、インターネット上での誹謗中傷やプライバシー侵害などの人権侵害が社会的に大きな問題になっています。

そうした中で、発信力があり、社会的な影響力の大きい地方議会議員が、インターネット上のモラルを正しく理解し、率先垂範していくことが大事であると考え、参加型の研修を実施します。

■日時・場所

令和3年11月22日（月） 議案聴取会終了後（所要時間：1時間半）

- ・インターネット・SNS上で起こる差別事象の実態【本会議場】（10分）
- ・ワークショップにかかる趣旨説明【本会議場】（10分）
- ・ワークショップ【議事堂2、3、5階各委員会室】（40分）
- ・報告・まとめ【本会議場】（30分）

■講師・演題

講師：公益財団法人反差別・人権研究所みえ

調査・研究員 中村 尚生（なかむら なおき）さん

研究員 安田 賢行（やすだ まさゆき）さん

演題：SNSと人権侵害

【講師紹介】

◇中村尚生（なかむら なおき）さん

伊賀市社会事業協会に保育士として6年間勤務。この間に、子どもたちに起こる問題や課題に直面し、その課題解決に向けた人権啓発活動に取り組んでこられました。

2012年より、「公益財団法人反差別・人権研究所みえ」に調査・研究員として勤務され、県内外で人権に関わる幅広いテーマで講演活動をされています。

◇安田賢行（やすだ まさゆき）さん

四日市市内の小学校で教員生活をスタートされ、その後四日市市教育委員会人権・同和教育課や三重県教育委員会・人権教育課で指導主事として勤務してこられました。

2020年から「公益財団法人反差別・人権研究所みえ」に研究員として勤務されています。